

対象クラス	1年 生活文化科	単位数	2
使用教科書	生活産業基礎 (実教出版)		
使用副教材	なし		

「生活産業基礎」はこんな科目です。

私たちの生活を支える衣食住、ヒューマンサービスなどに関する生活産業や関連する職業への関心を高め、必要な知識と技術を進んで習得し活用する意欲と態度を育てる科目です。

科目の到達目標 (目標とする検定等)

- 生活と産業とのかかわりについて理解し、生活に関連する職業への関心を高めていきます。
- 生活産業の職業に必要な知識と技術を進んで活用する意欲と態度を育てていきます。

評価の観点	評価規準・評価内容	評価方法等
関心・意欲・態度	生活と産業とのかかわりや生活産業に関心があり、積極的に授業や実習に取り組んでいく姿勢がみられるか。	授業態度 発展学習への取組状況 提出物の提出状況
思考・判断・表現	生活と産業のかかわりを理解し、生活産業のあり方を的確に判断できる力を身に付けているか。	定期考査 表現活動 (レポート、発表)
技能	生活産業と卒業後の進路のかかわりについて理解し、具体的な学習プランが立てられるか。	実習の状況 課題発表
知識・理解	生活産業の意義や役割と関連する職業が理解できているか。	定期考査 学習プリント提出

学習計画 (どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

	単元名	学習内容	学習活動のねらい
前期中間	第1章 私たちの生活と「生活産業」 生活産業のスペシャリストになるために  【前期中間考査】	「生活産業基礎」を学ぶ目的 「生活産業」とは 社会の変化と「生活産業」 「生活産業」にかかわる職業人 に求められる資質・能力	生活産業基礎を学ぶ目的を理解し、学習意欲を持つ。 産業構造と社会の変化、価値観の多様化と生活産業の発展について情報を収集する。 生活産業にかかわる職業人に求められる資質・能力を知り学習計画を立てる。
前期期末	第2章 生活に対応した商品・サービスの提供 消費者ニーズの把握 商品サービスの企画・開発及び販売・提供 関連法規 第3章 食生活の変化と生活産業のかかわり  【前期期末考査】	消費者ニーズに関する情報の収集・分析 市場調査の方法 消費者ニーズに対応した商品の企画 生活産業に関連した法規 わが国の食生活の変化 現代の食生活と課題 食品産業の発展	消費者ニーズの意味を理解する。 マーケティングリサーチを基に消費者のニーズに対応した商品の企画・発表ができる。 生活産業に関連した法規を理解する。 食生活に関する産業の意義と役割を理解する。 ライフスタイルに対応して食生活が変はしていることがわかる。 食生活にかかわる産業の課題に気付く。
後期中間	食生活関連分野の産業と職業 第4章 衣生活の変化と生活産業とのかかわり  【後期中間考査】	食生活関連分野の職業と資格 衣生活の変化と生活産業とのかかわり	食生活関連産業の資格と職業を知る。 ファッション産業の意義と役割を知る。
後期期末	衣生活関連分野の産業と職業 第6章 ヒューマンサービス関連分野の産業と職業 第7章 職業生活と自己実現  【学年末考査】	衣生活関連産業の職業と資格 社会の変化とヒューマンサービス ヒューマンサービス関連分野の産業と職業 社会の変化とヒューマンサービス ヒューマンサービス関連分野の職業と資格 職業生活と生きがい 将来の生活と学業 生活産業基礎の授業を終えて	衣生活関連産業の資格と職業を知る。 社会の変化とヒューマンサービス関連産業の意義と役割について考える。 ヒューマンサービス関連の職業の仕事内容・特徴を調べ、必要な資質と職業観を高める。 自分の性格を知り、将来の職業に必要な資質や能力を理解する。 自己実現に合わせた学習への興味関心を深め、将来のスペシャリストを目指して高校生活の目標を立てる。